

JAMトピックス

2025 年春季生活闘争中央討論集会

人への投資として 15,000 円以上要求



春闘勝利、郡山りょう必勝 団結してガンバリよう！

JAMは12月1日-2日両日、滋賀県・琵琶湖グランドホテルで2025年春季生活闘争方針大綱を議論する中央討論集会を開催した。具体的には「人への投資」としてベア相当額15,000円以上、平均賃上げ要求では構造維持分4,500円に15,000円以上を加え「人への投資」として19,500円以上を要求基準とする案が示された。

安河内賢弘会長は、「JAM組合員賃金全数調査によると、2年間で大手と中小企業の賃金規模間格差が46,000円から56,000円に広がった。1万円以上の格差がわずか2年間で広がったことになる。JAMはあらゆる

格差を許さず、決してあきらめることなく、ブレずに格差是正に取り組んでいく。賃金が上げられない最大の理由の一つが価格転嫁である。企業規模にかかわらず健全な取り引きが可能な社会を目指し、ブレずに価値を認めあう社会を目指していく」と力強く挨拶をした。

全国から参集した約350人の参加者は、1日目は全体会、2日目は4分散会で大綱案を討議した。

春闘方針大綱を受け、これから地方JAMを中心に討議を進め、年明け1月21日第45回中央委員会で2025年春季生活闘争方針が決定する。